

2 地域の教育資源や指定管理者の ノウハウを活用した事業

魚釣りやカレー作りなどなど、みんなで挑戦！

ネイパル砂川

ネイパル de チャレンジ

1 事業のねらい

様々な体験活動をとおして広い視野を育むとともに、何事にも積極的に挑戦する態度を養う。

2 事業の概要

- 期日 R4.7.9(土)～10(日) 1泊2日
- 対象 小学4年生から中学生
- 人数 35名
- 場所 ネイパル砂川 砂川オアシスパーク(遊水地)

3 プログラム

	13:15		13:45		16:30		17:30		18:30		20:00		22:00	
7/9 (土)	13:00～ 受付		出会いの つどい	活動1 「釣り体験」		会場 移動	入室 休憩	夕食	活動2 「ニュースポーツ体験」 モルック		入浴 就寝準備		就寝	
	6:30		7:30		8:30		9:00		12:15		12:30			
7/10 (日)	起床 洗面 荷物整理	朝食		部屋点検 荷物移動	活動3 「野外炊飯」		ふりかえり 別れのつどい		解散					

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 地域資源を生かした体験プログラム
 - ・砂川市にある砂川オアシスパーク(遊水地)を活用したプログラムを体験すること等を通して、地域の良さを味わうとともに挑戦する大切さを感じるよう工夫した。
- 参加者同士が協力しあい、交流を深めるプログラム
 - ・野外炊飯では、調理活動や薪割り・火起こし等の活動を通じて参加者同士が協力しあうとともに、交流を促進する場とした。

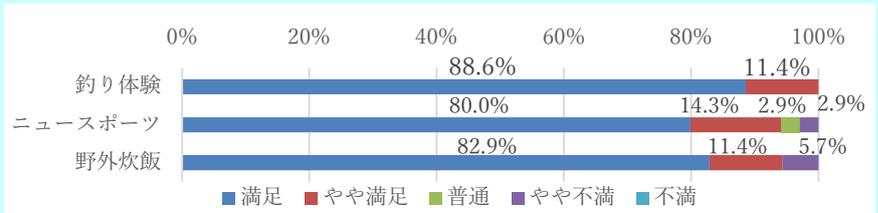


地域資源を生かした釣り体験



共同作業で交流を深める野外炊飯

5 事業の評価



- 参加者アンケートから、プログラムに対する評価は、満足+やや満足の合計が全てのプログラムで90%以上になる等、高い評価を得た。
- ニュースポーツと野外炊飯で「やや不満」につけた参加者は同じ児童であり、釣り以外の興味・関心が低かったと思われる。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- ふりかえりでは「色々な事にチャレンジできて楽しかった」、「新しい友だちができてうれしかった」、「ミミズに初めて触れた」などの声が多く聞かれた。様々な挑戦を通して参加者にとっては学びの多い事業になったものと考えられ、積極的に挑戦する態度を養うというねらいは達成できたものと考えられる。
- アンケートの評価では釣り以外の評価が低く、釣りだけを目的に参加したと思われるものが見られた。これまでの事業でも興味のない活動には消極的になる参加者が見られたが、このような参加者に対して興味・関心を効果的に高める方策の検討が必要であると感じた。

企画のポイント

チャレンジすることの大切さを感じ、初めての事にも進んでチャレンジする積極性を身につける

体験活動を通して、幼少期の子ども同士や家族間の交流を促進

ネイパル砂川 どっきどき!? ネイパルお泊まり体験

1 事業のねらい

遊びや体験活動をとおして、幼少期の子ども同士や家族間の交流の場とするとともに、親子の絆を深める。

2 事業の概要

- 期日 R5.1.28(土)～29(日) 1泊2日
- 対象 小学校1年生～小学校2年生までのお子様を含む家族
- 人数 13家族44名
- 場所 ネイパル砂川

3 プログラム

	13:10	13:40	16:00	17:15	19:00	21:30
1/28 (土)	12:40 ～受付	出合いの つどい	活動1 「雪であそぼう！」	休 憩	活動2 「いくつみつけ られるかな！」	休 憩
				夕 食	休 憩	19:00～21:00 入浴・自由時間 21:00～就寝準備
						就寝
	6:30	7:30	9:00	10:00	11:30	12:00
1/29 (日)	起床	朝 食	荷物移動 部屋清掃 部屋点検 活動の準備	活動3 「フローア ーカーリング」	休 憩	活動4 「スイーツを 作ろう！」
					ふりかえり	12:00解散予定

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 幼少期の子ども同士や家族間の交流を図る体験プログラム
 - ・活動1「雪遊び体験」活動2「室内ゲーム」で相手を見つけてじゃんけんゲーム、ファミリー対抗のフローアーカーリングをとおして子ども同士や家族間の交流が持てるように工夫した。
- 親子の絆を深めるプログラム
 - ・各プログラムは、親子で一緒に体験し、絆を深める事業であるが、特に活動4「スイーツを作ろう」は、家庭でも用意しやすい食材や調理道具のみでできるスイーツを作り、家庭でも調理等を親子が一緒に取組むきっかけになるように工夫した。

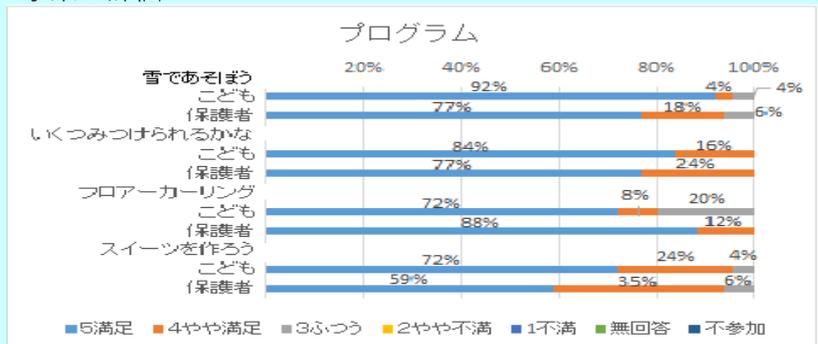


参加者同士の交流を図る体験



家族の絆を深めるプログラム

5 事業の評価



- 参加者アンケートから、「いくつみつけられるかな」は、親子共に100%の満足度であった。「少し難しかったけど楽しかった。」と好評であった。
- 「大雪の中の雪あそびは大人はつらかったですが、子どもたちは友だちもでき楽しめたようです。」と、声があった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「普段、兄2人のスポーツに忙しく、娘には我慢をさせることが多いので、こんなにじっくり2人で関わる事ができたのは久しぶりでした。」と、声があった。親子にとって絆を深めるよい機会となった。
- 「外でのプログラムを多くしてほしい。」という声があった。集合時間やプログラム内容などを検討したい。



企画のポイント

体験活動をとおして子ども同士や家族間の交流を図り、親子の絆を深める。

イルムの里づくり「通学合宿」

共催事業

1 事業のねらい

子どもたちが親元を離れ、一定期間宿泊しながらの通学や、様々な人との交流をおし、自立して生きていくために必要な学習習慣や生活習慣を身に付けるとともに、思いやりの心や協調性、音江愛（地域愛）を育む。

テーマ 【自立】 【交流】

2 事業の概要

- 期日 R4.11.6(日)～12(土) 6泊7日
- 対象 音江小学校 5年生
- 人数 児童4名 学生5名
- 場所 ネイパル深川

3 プログラム

日時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22			
11/6 (日)										受付	開会式	説明	アイズレイク	夕食	計画	学習	入浴	振り返り	消灯
11/7 (月)	起床	朝食作り	朝食	登校	学校				下校	学習	自主活動	夕食	自主活動	クライミング	入浴	振り返り	消灯		
11/8 (火)	起床	準備	朝食	登校	学校				下校	学習	夕食作り	夕食	自主活動	入浴	振り返り	消灯			
11/9 (水)	起床	準備	朝食	登校	学校				下校	学習	自主活動	夕食	自主活動	イルム交流	入浴	振り返り	消灯		
11/10 (木)	起床	朝食作り	朝食	登校	学校				下校	学習	自主活動	夕食	自主活動	運動	入浴	振り返り	消灯		
11/11 (金)	起床	朝食	朝食	登校	学校				夕食会準備	下校	夕食作り	夕食会	学習	入浴	振り返り	消灯			
11/12 (土)	起床	朝食	朝食	整理整頓	発表会準備	発表会	閉会式												

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■全員で目標を決め、取り組む

- ・初日に児童全員で目標を決めることで、自立や協力に対する意識を高め、期間中の取組に対する自覚を持たせる。

■メニューから自分たちで考える、食事作り

- ・いつもは保護者が行っていることを自分たちで行うことにより、保護者への感謝や、苦勞を知るきっかけにするとともに、仲間と協力しながら調理することで、思いやりの心や協調性を身に付けさせる。

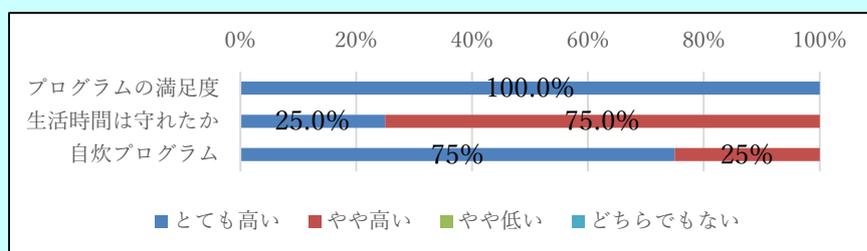


全員で話し合い、目標を決める。



レシピを確認し、調理をする。

5 事業の評価



- 「将来の役に立つ」「交流を深め友達の大切さを改めて実感できた」など、全体の満足度が高い。
- 自炊に関して、「上手にできた」「協力することが出来た」とあるが、「自分で考えるのができなかった」という意見もあった。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「自立」をテーマに掲げ生活することで、一人で考え行動する様子が多かった。また、自分のことだけでなく、仲間のことも気にする姿も見え、協調性が高まっていた。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地域との交流の場面が通常よりも減ってしまっている。このような状況下でいかに学校・地域・行政で連携を図り、地域とのふれあいを多くしていくかが課題として残った。



企画のポイント

「自立」をテーマとし、自分たちで目標を決め、食事づくりや洗濯、学習などの活動を実施。

ミッション・イン・ネイパル森

1 事業のねらい

近隣の生産者と連携して、地域活性化を図るとともに、参加者が直接体験を通して、地元の人材や資源に目を向ける機会とする。

2 事業の概要

- 期日 R4.6.18(土)～19(日) 1泊2日
- 対象 小学校4～6年生
- 人数 51名(応募90名から抽選) ボランティア10名
- 場所 ネイパル森、森町駒ヶ岳地域周辺の店舗・工場

3 プログラム

	10:00	10:30	11:30	12:30	16:00	20:00	22:00	
6/18 (土)	受付	開会式	アイスブレイク	昼食	活動1【駒ヶ岳地域周辺】 「ミッション・イン・ネイパル森」 (小麦粉・野菜・ソーセージ・木炭の仕入れ)	活動2【ネイパル森】 「駒ヶ岳ピザを作ろう」	入浴 自由時間	就寝
	7:30	9:00	10:30	11:00	11:15			
6/19 (日)	起床	朝食	活動3【ネイパル森】 「炭次郎づくり」 (脱臭炭クラフト)	振り返り アンケート	閉会式	解散		

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 地域の資源に目を向けるための工夫
 - ・参加者がピザ屋になりきり、直接近隣の生産者を訪問し食材等を仕入れた。
 - ・仕入れ先では、製品を作る時のこだわりや価格設定などについて質問し、生産者の思いを理解する場面を設定した。
- 社会教育施設が拠点とした地域づくりをするための工夫
 - ・地域課題を踏まえ、駒ヶ岳地域の活性化を考えている4組の生産者に本企画を伝え、事業を実施した。
 - ・今後も生産者同士でつながりが持てるように、ネイパルが中心となり交流する機会やネイパルの事業等で生産者と地域住民が触れ合う場を提供する。



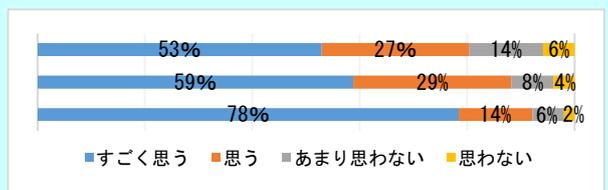
直接体験を通じた生産者との交流



地元のものを使ったピザ作り

5 事業の評価

自分の住む地域のお店や工場について知りたいと感じたか
 直接お店の人と会って買い物をしたか
 駒ヶ岳地域のお店や工場について知ることができたか



- 参加者アンケートから
 - ・「自分の住む地域のお店や工場について知りたいと感じたか」の項目で、80%以上が肯定的な評価をした。
- 参加者の声
 - ・材料を直接買いに行ったからこそ、生産者の思いを知り、安心して調理して食べることができた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「家族と今回訪問したお店にまた行きたい」、「自分の住む地域のお店や工場にも興味を持った」と話していた参加者がいたことから、地元の人材や資源に目を向けさせるきっかけとなった。
- 森町以外からの参加者が多くいたことから、「活動1」終了時などに、意図的にそれぞれの地域の特産物を紹介するなど、多くの参加者が地元の人材や資源に目を向けやすくするための工夫が必要である。



企画のポイント

地元の生産者・企業と連携し
 企画することで、地域全体の活性化を図ることにつながる。

秋のネイパルまつり

1 事業のねらい

地域の人材や団体と連携を図り、様々な体験活動を提供することを通して、施設の利用と地域における体験活動の促進を図る。

2 事業の概要

- 期日 R4.10.10(月・祝日) 日帰り
- 対象 親子
- 人数 76家族 228名 ボランティア 19名
(応募 131家族 421名) ※悪天候によりキャンセル多数
- 場所 ネイパル森

3 プログラム

10:00		15:00	
10/10 (月) 祝日	受付	秋のネイパルまつり ・協力団体ブース (絵本読み聞かせ、おりがみ、バザー・体験コーナー他) ・野外活動 (棒巻きパン体験、チョークでお絵描き) ※雨天中止：(パイロン・オフロードサイクリング、ネイチャービンゴ) ・創作活動 (勾玉、麻縄リリース、バードコール) ・ニュースポーツ体験 (フロアカーリング、モルック、ユニホック他) ・展示コーナー	終了

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 施設利用を促進するためのプログラム提供とPR
 - ・ネイパルが提供している体験活動や、主催事業で実施した活動を提供した。また、参加者にパンフレットを配付して、ネイパルへの興味・関心が高まるように工夫した。
- 地域での体験活動の促進を図るための団体との連携
 - ・「就労支援センターWORKハウス」「函館絵本の会 銀のふね」と連携を図り、絵本の読み聞かせやバザー、ランタンづくりなど、地域での体験活動の促進が図られるよう、ネイパルでは提供していない創作活動などのブースを設置した。

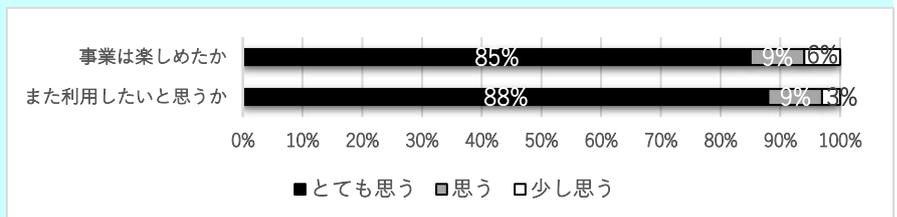


棒巻きパン体験



協力団体によるランタンづくり

5 事業の評価



- 参加者アンケートから、「施設をまた利用したいですか」という項目で97%が肯定的な評価をした。
- 「普段の生活では経験することができない体験をすることができた」という回答が多くみられた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「また主催事業に参加したい」との声が多く、創作活動・ニュースポーツなどの体験活動を多数入れたことや協力団体のブースを設けたことで、全体の満足度が向上したと考える。
- 施設の利用や地域における体験活動のさらなる促進に向けて、ネイパルが核となり、より多くの地域の人材や団体とのネットワークの構築を図る必要がある。

企画のポイント

施設利用や地域での体験活動を促進するために、地域の人材や団体と連携を図りながら体験活動を提供。

体験活動を通して、スポーツへの興味、関心を向上を図る

ネイパル森

ネイパル スポ☆フェス

1 事業のねらい

様々な体験活動を通して、スポーツへの興味、関心の向上を図り、運動する楽しさや良さを体感する機会を提供する。

2 事業の概要

- 期日 R4.11.26(土)～27(日) 1泊2日
- 対象 小学校4年生～中学校3年生
- 人数 57名(応募64名から抽選) ボランティア7名
- 場所 ネイパル森

3 プログラム

	13:00	13:15	14:00	17:30	18:30	20:15	22:00	
11/26 (土)	受付	開会式	活動1【ネイパル森】 仲よくなろう (アイスブレイク)	活動2【ネイパル森】 「おもしろ楽しいスポーツに挑戦!!」 (ビームピストル、ゴールドッチ、カバディ)	夕食	活動3【ネイパル森】 「夜の運動会!？」 (バック走リレー、ドッチビー、5色綱引き)	入浴 自由時間	就寝
	7:15	9:00	12:20	13:20	13:50	14:00		
11/27 (日)	起床	朝食	活動4【ネイパル森】 「おもしろ楽しいスポーツに挑戦!!」 (車椅子バスケットボール体験、モルック、ポッチャ)	昼食	振り返り アンケート	閉会式	解散	

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 様々なスポーツに触れるための活動
 - ・ビームピストル、ゴールドッチやカバディなど、普段は体験する機会が少ないスポーツを取り入れた。また、ルールを簡素化することにより、参加者が活発に安心して楽しめるよう工夫した。
- アダプテッドスポーツを知るきっかけづくり
 - ・パラリンピック競技でもある車椅子バスケットボールやポッチャを活動に入れた。車椅子バスケットボールでは、函館市のチームを招き、車椅子の操作やミニゲームを行った。障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめるアダプテッドスポーツの意識や魅力を知る機会を提供した。

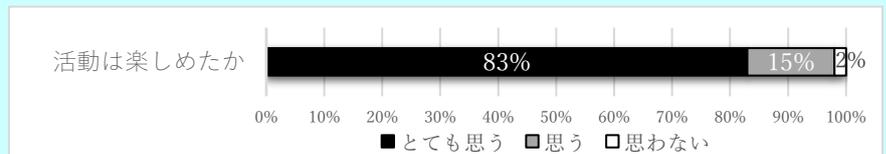


車椅子バスケットボール体験



ビームピストル体験

5 事業の評価



- 参加者アンケートから
 - ・趣旨に関する項目で、参加者の98%が肯定的な評価をした。
- 参加者の声
 - ・「運動は苦手だが、ポッチャは簡単に楽しむことができた。」「車椅子に乗る経験がなく、車椅子バスケットボールを実際にできて楽しかった。」など、企画の意図に迫る感想が得られた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「初めて体験する活動が多く、とても楽しめた。」との感想が多く挙げられたことから、参加者の興味、関心を引出し、運動する楽しさを伝えられたと考える。
- 対象学年が幅広く体格や体力に差があったことから、より一層、運動する楽しさや良さを体感できるように学年別での活動を取り入れるなどの運営上の工夫やプログラム提供を充実させるために関係団体等と連携を図る必要がある。



企画のポイント

スポーツへの興味、関心を高めるために、ニュースポーツやアダプテッドスポーツの活動を設定。

1 事業のねらい
創作活動やレクリエーションを通じて、異年齢間の交流を図る。

2 事業の概要

- 期日 R4.12.10(土)～11(日) 1泊2日
- 対象 小学校4年生～6年生 90名程度
- 人数 66名(応募75名) ボランティア12名
- 場所 ネイパル森

3 プログラム

	11:00	11:15		12:10	13:30		15:15		17:30	18:45		19:40	22:00
12/10 (土)	受付	開会式	活動1【ネイパル森】 仲良くなろう！ (アイスブレイク)	昼食	活動2【ネイパル森】 なぞ解きラリー (協力しクイズを解く)	活動3【ネイパル森】 ケーキを作ろう (クリスマスケーキ作り)	夕食	活動4【ネイパル森】 絵本上映会 (読み友「もりのそら」 笹谷 琢史氏)	入浴 自由時間	就寝			
	7:15	9:00		11:00	11:20	11:30							
12/11 (日)	起床	朝食	活動5【ネイパル森】 クリスマスグッズをつくろう (クリスマスペーパークラフト)	アンケート 記入	閉会式	終了							

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 異年齢間の交流を促進するための活動班・プログラム構成
 - ・学年混合の班編成にし、グループ単位での活動を多く設定した。活動1ではゲーム形式で行い、班ごとに自己紹介をしたり、協力して課題を達成したりするなど交流する場面を多く取り入れた。
- 参加者の意欲を高める活動内容の設定
 - ・活動2では問題の難易度を高めに設定し、高学年の参加者を中心にグループでの話し合いが促されるようにした。またケーキやグッズづくりでは、簡単に作成できるようにレシピ開発を行い、中学年の参加者にも安心して取り組めるような工夫をした。

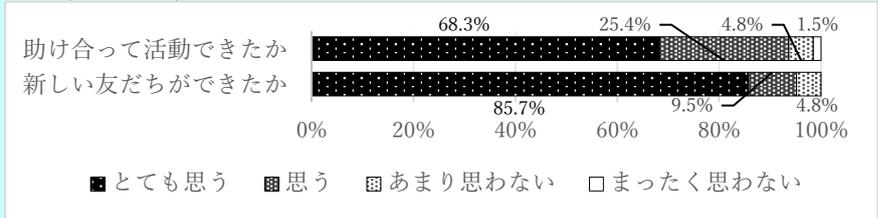


クリスマスなぞ解きラリー



クリスマスケーキ作り

5 事業の評価



- 参加者同士の交流に関する項目で肯定的な評価を得ることができた。
- 「色々な学年の人達とたくさん話すことができた。」など、ねらいに迫る感想を得ることができた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 参加者アンケートでは「みんなで協力してできた」というような記述が多く、活動を通じて参加者の交流を促進させることができた。また、ボランティアとの交流の機会を多く設定できたことも成果である。
- 参加者によっては、活動内容が難しいという声もあった。参加者全員の満足度を上げられるよう、更なる活動内容の工夫が求められる。



企画のポイント

活動の難易度を調整し、参加者の活動意欲を高めながらコミュニケーションを促進。

1 事業のねらい

創作活動やレクリエーションを通して、親子でのコミュニケーションを深める機会を提供する。

2 事業の概要

- 期日 R4.12.17(土)～18(日) 1泊2日
- 対象 親子
- 人数 20家族67名 ボランティア3名
- 場所 ネイパル森

3 プログラム

	11:00	11:30	12:00	13:00	14:30	15:00	17:00	18:00	19:00	21:30	
12/17(土)	受付	開会式	活動1【ネイパル森】 アイスブレイク	昼食	活動2【ネイパル森】 クリスマス館内ラリー (ゲームや館内ウォークラリー)	休憩	活動3【ネイパル森】 クリスマスオーナメントづくり	夕食	活動4【ネイパル森】 保護者：交流タイム 子ども：絵本読み聞かせ	入浴 自由時間	就寝
12/18(日)	起床	朝食	活動5【ネイパル森】 ケーキを作ろう (クリスマスケーキ作り)		アンケート 記入	閉会式	解散				

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 幼児がいる家庭でも安心して楽しめるプログラム構成
 - ・説明時には、作り方を掲示し、模範を示しながら、視覚的にわかりやすくなるよう工夫をした。また、各活動との間の休憩を30分程度にしたことや自由時間を多めに取ったことなど、ゆとりを持って家族で過ごせる時間を確保した。
- 活動への興味関心を高めるプログラム
 - ・すべての活動でクリスマスに関する内容を設定した。活動2をゲーム形式で進めたことや、活動3・5では基礎的な作り方を伝えた上で、参加者が自由にデコレーションできるようにし、活動への意欲を高められるように工夫した。

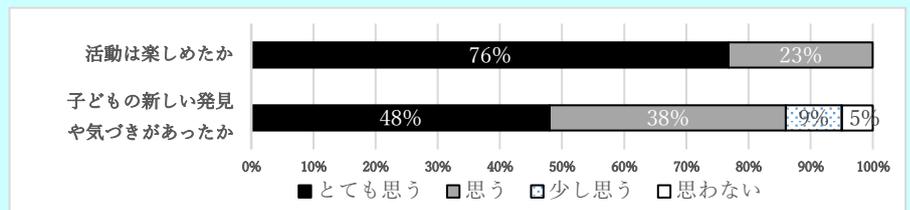


クリスマスオーナメント作り



クリスマスケーキ作り

5 事業の評価



- 参加者アンケートから
 - ・ねらいに関する項目で、参加者の95%が肯定的な評価をした。
- 参加者の声
 - ・「家族でゆっくりと過ごせた。」「すべての活動を親子で力を合わせてできた。」など企画の意図に迫る感想が得られた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「普段体験できない内容だった。」「家族全員で協力できた。」などの声が多く得られたことから、親子でコミュニケーションを深めることができたと思う。
- コロナ禍で家族同士の活動が制限される。
- 親子を分け、親が子育てから解放される時間を設けたが、十分な時間設定ではなかったため、今後も親を対象としたプログラムの充実を図る必要がある。



企画のポイント

親子で協力し合いながら、幼児でも楽しめることができる活動の設定。